

◆学生の受け入れについて

現在、湘南医療大学専攻科 助産学専攻の学生が5名、同じ大学の保健医療学部 看護学科の学生が5〜6名ずつ、産婦人科病棟に臨床実習にきています。

助産学専攻科の実習内容

- 分娩介助
- 妊娠期の観察（妊婦健診、保健指導の実施）
- 新生児期の観察（新生児の検温、全身の観察、更衣、おむつ交換、沐浴など）
- 褥婦の観察（母乳分泌の状態の観察、子宮収縮状態の観察、授乳の観察など）

看護学科の実習内容

- 妊娠期の観察（妊婦健診、保健指導の実施）
 - 新生児期の観察（新生児の検温、全身の観察、更衣、おむつ交換、沐浴など）
 - 褥婦の観察（母乳分泌の状態の観察、子宮収縮状態の観察、授乳の観察など）
- ※見学がメインです。

助産学専攻の学生は看護師免許を取得した上で、助産師になるために勉強している学生です。分娩介助をメインに、当院の助産師の指導の元、つきつきりで行わせていただきます。

助産学専攻科の学生も看護学科の学生も、事前に患者様に説明させていただき、同意を得られた場合のみ、受け持ち患者さまとして担当させていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。

◆赤ちゃんの暑さ対策

本格的な夏がきました。コロナによる外出制限もなく、いろんなところに外出する機会も多いのではないのでしょうか。

この暑さで赤ちゃんを抱っこして歩くのはしんどいものですよ。ぜひベビーカーで移動したいところなのですが、ベビーカーの高さで赤ちゃんが感じる暑さって、大人よりも10度ほど高くなることもあるんです。気温に加え、アスファルトからの照り返しによる暑さがありますので、大人が感じている以上に赤ちゃんは暑いんです。また赤ちゃんは体重に対する体表面積が大人よりも大きく、体の水分量が体重の70〜80%ですので、外気温の影響を強く受けやすく、脱水になりやすいです。さらに臓器にはまだ未熟性が残りますので、一気に悪化し、熱中症にもなりやすいので、とくに注意が必要です。

【対策】

こまめに水分摂取

離乳が済んでいない月齢の子は母乳もしくはミルクのみで大丈夫ですが、「寝ているから」、「もう少しでお家につくから」などと思つて後回しにするのは避け、時間通りしっかりと飲ませてあげましょう。心配な場合は授乳間隔を少し短くするのでもよいです。

綿100%、通気性や吸水性の高い服を選択

お肌の弱い赤ちゃんは汗をそのままにしておくとお肌トラブルを引き起こしやすいです。こまめに確認して、汗ばんでいたら着替えをしてあげましょう。よだれなどで汚れやすいスタイやそのままにしがちなベビーカーのシートなどもあせもができてしまう原因となりますので、こまめに取り替え、洗濯をしてあげましょう。また、紫外線に弱い肌のため、肌露出ししないような服を選んであげましょう。シェードや日傘なども活用し、直射日光が当たらないように工夫するのも良いです。逆に、シヨッピングモールなどに入るときには冷房で冷えすぎないように、薄手のおくるみや上着などがあるといいと思います。

◆今月の赤ちゃん



7月最後に産まれた
むちむち感がたまらなく
かわいい女の子。

陣痛が来てから3時間
ほどでお産になりました
。出血量は多めでした
が、順調に予定通り退院
されました。暑いから無
理しないでね。